

共同研冬の講演会を実施しました！

和歌山県立和歌山ろう学校の中尾先生と石井先生を迎えて講演会を実施しました。タイトルは

よりよい共生社会に向けて～自己理解、相互理解を深めるための教材作りから繋げる取り組み！

地域の先生方27名、本校教員合わせて50名以上の先生が参加しました。

講演の後のグループワークでは、本校の教員と地域の先生方で、難聴かるたで話をさせていただきました。「あるある！」「こんなことがあって・・・」など、活発な話し合いができました。



和歌山ろう学校版の難聴かるたのサブタイトルは「きこえにくい世界ときこえる世界の**相互理解**ハンドブック」と書かれて言います。聴覚障がいのことを理解する学習は通級でも本校の生徒も自立活動などで実施しますが、相互理解という視点も、とても大切だと改めて思いました。

参加された先生方のアンケート結果から、とても満足度が高く、有意義な講演会となりました。

年末のお忙しい中来ていただいた講師の先生をはじめ、地域の先生方、本校の皆様ありがとうございました。来年度も皆様に参加していただける講演会を運営していきたいと思っています。



幼稚部 早期教育相談

今年度は0歳児から2歳児までの乳児さんは 月曜日 水曜日グループで教育相談を実施しました。聴覚障がいについて、子どもの発達について理解を深めました。グループでの教育相談とは別に5歳児学年まで個別での教育相談も行いました。個々の課題に応じたコミュニケーションを保護者の方々と一緒に育てています。

小学部

堺市手話通訳養成講座の講師として、講演を行いました。聴覚障がいについて、主に難聴の種類、聞こえ方、聴覚障がいの方とのコミュニケーションのとり方。また、聴覚障がい教育の歴史、本校の聴覚障がいの教員によるエピソードを話しました。受講生の皆様に難聴体験をしていただくと、聞こえにくさのイメージが深められ、どのような配慮をしたらいいのか、各々考えられていました。

また、地域の小学3年生に「聴覚障がいについて」理解学習をしました。前半は、聴覚障がいはどのような障がいなのか、かわり方について話をしました。後半は子どもたちに指で耳栓をして、聞こえにくさの体験をしてもらいました。手話表現を当てるクイズでは動きをよく見て考えて、楽しみながら取り組んでいました。出前授業はいつでも受付していますので、センターまでご連絡ください。

中学部

今年度は居住地校交流の中学校3校に出前授業を実施しました。ある堺市の学校は1年生の時に1回、3年にもう一度しました。その時は地域支援担当の教員と、居住地校交流をする生徒も発表をしました。**「聞こえにくいから～をしてほしい」と合理的配慮を申し出るとともに、自分のできることをどう頑張るのかも併せて発表をしました。**また、別の学校ではこの出前授業を機に、毎年人権学習で障がい理解学習をしてほしいと依頼されました。多様性の理解と言われて久しいですが、地道に地域へ発信できたらと思っています。



通級

小学生通級は今年度7回交流学習会を行いました。交流学習会の終了後には、「次はいつ来るかな。」と、本校の児童が通級生との再会を楽しみにしてくれたり、通級生は「堺聴覚の友だちと話すために手話を覚える!」と、報告してくれたり、嬉しい反応が返ってきました。本校の文化祭鑑賞から刺激を受けた児童もいます。双方にとって得るものが多い体験になりました。来年度もたくさんの通級生が交流に来て欲しいと思っています。

中学生通級は今年度10回交流学習会をしました。ある中学3年生の生徒は「先生、ぼく、修了式で交流学習の話をしたい。通級のみんな、参加したらいいのに!給食とかも一緒に食べれてよかった」と言っていました。通級9年間の集大成としてあいさつしてもらいたいと思っています。

中学に入学、高等学校へ入学の際に、自分のことを話するのか、などの学習の大詰めをむかえています。自分に向き合い、考え、よい選択をしてくれたらと思っています。